

議案の審議結果

付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決
総：総務企画委員会 予：予算特別委員会

	付託先	賛成 × 反対 退席							議決結果
		議長は除く							
		自由民主(5)	みどりの風(5)	公明党(4)	日本共産党(4)	小金井民主党(3)	改革連合(1)	民主党市民(1)	
人権擁護委員候補者の推薦について(同様外4件)	即								議会として異議のない旨の意見を提出
平成19年度小金井市一般会計補正予算(第5回)	予		×		×				原案可決
平成19年度小金井市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	予								原案可決
平成19年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第2回)	予								原案可決
小金井市名誉市民条例	総		×	4					原案可決
小金井市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	総								原案可決
負担付き寄附の受入れについて	即								可決
小金井市中間処理場事務所棟等新築工事請負変更契約について	総								可決
小金井市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総		×				2	1	原案可決
損害賠償の額を定め、和解することについて	即								可決

一般質問 (3ページ~6ページ) 4・5・6・7日

原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称	自由民主クラブ
(自由民主)	自由民主クラブ
(みどりの風)	みどりの風
(公明党)	小金井市議会公明党
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(小金井民主党)	小金井市議会民主党
(改革連合)	改革連合
(民主党市民)	民主党こがねい市民会議

手厚い 災害弱者対応を求める



露口哲治(自由民主)

①新潟県中越地震では、お年寄りや障害者の安否確認の遅れが被害を大きくしたとして厚生労働省は要援護者の名簿作成を進めている。

地震災害では家具の転倒防止策をすることで死者・負傷者は半減し、避難の遅れによる二次災害も防げることが立証されている。(ア)プライバシーを十分に配慮した上で安否確認体制を確立すべきではないか。(イ)優先的に要援護者家庭への家具転倒防止金具等の助成制度をつくるべきだ。

②前原町・中町坂下交通不便地域のミニコバス運行の進捗状況を問う。

都市整備部長 指摘されてきたミニコバス運行に関しては、新規路線の事業計画調査委託も発注しており、来年度の早い時期の運行となる。

梶野町にココバスを 小金井市HP活用を



宮崎晴光(小金井民主党)

①交通不便地域の梶野町一・二丁目の交通弱者のため、東小金井駅北口からジブリ前を通り、北大通り、市境を北上し、二丁目を横断して梶野通りから東小金井駅北口に戻る、小型ココバスルートを検討しないか。

都市整備部長 ココバスルートは前原坂下地区への小型バス開通で完結する。今後は中央線高架後に見直すときに参考にしたい。

市長 所期の目的を達した後、宮崎議員の話も考慮しながら全的に考える。

②小金井市ホームページを市政に生かすため、(ア)ホームページの更新情報を市民にメールで知らせるサービスはないか。(イ)事前登録した市民を対象にインターネットアンケートを実施しないか。(ウ)福島市の視察を踏まえ、電子会議室をSNS方式で開設しないか。

情報システム課長 (ア)RSSを使えば可能なので、ホームページで市民に周知したい。(イ)課題や費用対効果等を見極めて研究したい。

企画財政部長 (ウ)SNSを念頭に前向きに取り組んでいきたい。

市民の健康を守るために 健診事業の拡充を



鈴木洋子(公明党)

①平成20年4月から新しい健康診断や保健指導がスタートするが、市が行ってきた事業を後退させることなく更なる拡充を目指し取り組んで欲しい。(ア)妊婦健診の国基準までの5回公費負担への拡充はどう取り組むか。(イ)前立腺がん検診を始めないか。(ウ)歯科検診にレントゲンの導入を。(エ)後期高齢者医療制度の市の見解を求める。

福祉保健部長 (ア)厚生労働省から通達を受け、東京都の行政や医師会とも協議の結果、増やす必要があるとの報告がある。

②再開発の進む中で、駅前のビル等に保育所を考えたか。(イ)市を訪れる人のためにも、案内模型を設置しないか。(ウ)武蔵小金井駅北口の街づくりはどう考えるか。

子ども家庭部長 (ア)検討の上、対応していきたい。

開発事業本部長 (イ)アイデアとして参考にしていきたい。

都市整備部長 (ウ)ニーズがあるので検討していきたい。

市報等で特集を組み 住警器の設置促進を



宮下 誠(公明党)

①既存住宅への住宅用火災警報器(住警器)の設置促進について、(ア)市報やホームページで特集を組んではどうか。(イ)高齢世帯等へ支援しないか。

総務部長 (ア)共同購入の推進を含め、時期を見ながら市報等で宣伝していく。

福祉保健部長 (イ)財政の裏づけが必要。都に対して支援を要請し取組を検討していく。

②火災情報を希望者に携帯メールで配信しないか。

総務部長 連続放火事件については、直ちに流していく。

③消防団の関連式典を駅周辺の目立つ場所で開催するな

ど、活躍ぶりを多くの市民に見てもらえないか。

総務部長 小平市では、消防団出初式を駅前広場で開催している。当市の場合、会場スペースや諸条件の揃う場所がなかなか確保できない。今後、地域のあり方を含めて研究課題とさせていただきます。

④消火栓の設置は規定どおり行われているか。

総務部長 平常時の消防水利は、ほとんど充足している。その他、職員の働き方にテラワークを導入し、育児・介護と仕事との両立を進めるよう提案しました。